

JASE

現代性教育 研究ジャーナル

2016年
No. 61

2016年4月15日(毎月15日)発行

日本性教育協会

THE JAPANESE
ASSOCIATION
FOR SEX EDUCATION

〒112-0002 東京都文京区小石川2-3-23 春日尚学ビル Tel.03-6801-9307 Mail info_jase@faje.or.jp URL http://www.jase.faje.or.jp 発行人 鈴木 勲 編集人 中山博邦
© JASE. 2016 All Rights Reserved. 本ホームページに掲載している文章、写真等すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

contents

「関西性教育研修セミナー 第20回記念イベント」報告……1
もっと知りたい女子の性⑩……8
Dr.上村茂仁の性の悩みクリニック①……10

性教育の歴史を尋ねる⑳……11
今月のブックガイド……12
JASEインフォメーション……13

◎「関西性教育研修セミナー 第20回記念イベント」報告

押されても 揺らいでも 立ち続けることの意味を問う

2016年3月13日(日曜日)午後1時より、大阪府立大学「I-site なんば」において、「押されても 揺らいでも 立ち続けることの意味を問う」をテーマに関西性教育研修セミナーが開催された。20回目を迎えた今回は、特定非営利活動法人ぶれいす東京顧問の池上千寿子氏の基調講演と運営スタッフである岡田実穂、野坂祐子、東優子の3氏が教育講演を行った。

主催：関西性教育研修セミナー実行委員会

はじめに

第1回に関西性教育研修セミナーは、2006年8月19日(土)～20日(日)の2日間、「子どもの性の安全・性の健康〔研修コース1 性暴力の被害と加害〕」をテーマに、大阪市立総合生涯学習センターで行われた。第1回から第10回までは、財団法人日本性教育協会(当時)の主催、第11回からは、関西性教育研修セミナー実行委員会の主催で開催されてきた。

第1回から今回第20回までのテーマおよび講師は、別表(7ページ参照)の通り。この10年間、性教育を取り巻く環境は、時代とともに変化している。

今回の性教育研修セミナーでは、基調講演として池



上千寿子氏に、「たかが性、されど性～無理をしないでいられるって、サイコー～」と題して、これまで実践してこれられた活動の足跡と性教育の変遷について講演していただいた。

休憩を挟んで、RC-NET（レイブ・クライシス・ネットワーク）代表でもある岡田実穂氏が、「アクティビスト、バッシングと向き合う」、大阪大学准教授の野坂祐子氏が「教育現場における『性』の扱い」、大阪府立大学教授の東優子氏が「性教育をめぐる市民戦争とその教訓」と題した教育講演を行った。

「たかが性、されど性～無理をしないでいられるって、サイコー～」

池上千寿子氏は、1982年からハワイ大学「性と社会太平洋研究所」でミルトン・ダイヤモンド教授のもとでセクソロジーを学び、帰国後、1994年に「おれいす東京」を設立し、エイズ予防とケアの活動に従事、2012年まで代表を務めた。



現在は顧問として活動している。2005年にエイボン女性教育賞、2009年日本エイズ学会アルトマーク賞、2011年WAS（世界性の健康学会）金賞を受賞されている。

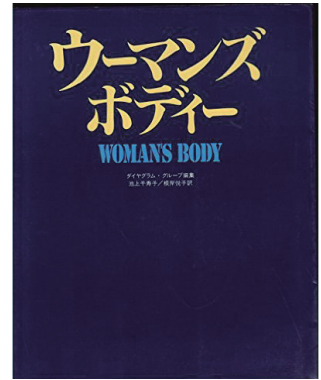
池上氏は、「50年間のきわめて主観的な自らの経験」と思い、活動の歴史をもとに、性とからだについて話します」と、前置きされて語り始めた。

二十歳までは、一言で言えば「オンナは別物なのだ」と言われ続けてきたという。その理由を聞くと「子宮があるからだ」と言われる。「子宮があると何で別物なの」と聞くと、答えは返ってこない。

「子宮って何だろう」という疑問をもって、調べようとするが、当時、女の身体、性についての書物は、妊娠、出産、更年期障害に関するものしかなかったという。この体験が、後に、『ウーマンズボディー』の翻訳・出版につながった。

話は、進み、池上氏は1970年代を、「女の性とからだをとりもだす70年代」と表現された。70年代は、性の言語化と可視化、そして「生とからだ（性）がはじめてつながった」時代であったという。それまでは、女のからだについて男の医師や心理学者が語っていたが、女性の性について女性が語るようになった、という。

池上氏は、1980年に医師の根岸悦子氏と出会い82年に前述した『ウーマンズボディー』を協働で翻訳・出版する。『ウーマンズボディー』では、「恥毛」という言葉はなく、「性毛」と訳すなど性の言語化、可視化に取り



組み注目を集めた。テレビなどで取り上げられたこともあって30万部のベストセラーとなる。これを機に、根岸氏との協働翻訳で20冊余りを出版する。

しかし、1980年代、日本のフェミニズム、ジェンダー系もセクソロジーには冷淡であった。「脳の性差を探る著作を翻訳するのはもってのほかだ」と言われた時代で、すべては家父長制の問題で男は敵で、性については深く考えないで、男の性はわからないですまっていた時代であったと、当時の様子をエピソードをまじえて語った。

その後、1982年本格的にセクソロジーに取り組むため、ハワイ大学「性と社会太平洋研究所」のミルトン・ダイヤモンド教授のもとへ。教授は、「セクソロジーでは、学位もポジションも得られない。セクソロジーは主流にはなりえない。それでもやるのか」と問うたという。1988年まで、ハワイ大学で学んだ池上氏は、ここで、「エイズ」に出合うことになる。ハワイ大学を中心にした経験については、2013年12月21日に開催された第16回関西性教育研修セミナーで、「Living Together～池上千寿子が歩み続ける道～」（本紙No.37：2014年4月号に掲載）と題して講演されているので参照されたい（日本性教育協会のホームページからダウンロードできる）。

帰国後、池上氏はエイズ予防とケア活動に本格的に取り組む始める。時代は、アメリカから始まったエイズパニックの影響で、日本でも学習指導要領が改訂され、性教育の授業が行われるようになった。1992年は、「性教育元年」と呼ばれた。

21世紀になると、性教育バッシングが始まる。『思春期のためのラブ&ボディBOOK』騒動、七生養護学校性教育への政治介入等々、そのような時代を池上氏は、日本におけるセクソロジー、性教育の先駆者の一人として活躍してこられた。

その池上氏は、「たかが性、されど性、無理をすると生きづらい」という。

●無理をしない・その1

「無理な性別役割人間関係は解消する」

●無理をしない・その2

「特定概念で無理にまるめこまない」

●無理をしない・その3

「仲間とともに、一人ではなにもできない」

そして、性に「べき」「あるはず」「にちがいない」「できるはず」はない、人間の真骨頂は「変わる」こと、知ることは無限でおもしろいと語り、そして「人と人とのつながりのパワーと魅力に乾杯！」と締めくくった。

池上氏は、内田樹氏の次の様な文章を講演の中で引用している。

無知とは知識の欠如ではない。そうではなくて、知識で頭がすっかり目詰まりして、新しい知識を受け入れる余地がない状態のこと。何を訊いても、「そんなことは自分にはわかっていた」と応じるというのが無知の典型。(『修業論』光文社新書)

池上千寿子氏の基調講演後、休憩を挟んで、関西性教育研究セミナー実行委員会のメンバーの教育講演が行われた。

「アクティビスト、バッシングと向き合う」

RC-NET（レイプ・クライシス・ネットワーク）代表で関西性教育研究セミナー実行委員会の事務局を務めている岡田実穂氏は、「アクティビスト、バッシングと向き合う」と題して、LBGT・性暴力支援のご自分の活動体験について語った。



岡田氏は、大阪で支援ネットワークの活動を始め、その後、東京に移られ、現在は青森を活動の拠点として活動している。岡田氏は、「なぜ活動をするのか」ということから語り始めた。岡田氏は、次の3点をあげた。

- 「最後に、自分に起きたことを話したい」というメールを、受け続けるために
 - 既存の支援システムから排除されている存在を可視化するために
 - 性暴力サバイバーにとって、生きやすい社会をつくるために
- RC-NETのWebページの冒頭で、次の様に宣言している。

私たちは、ただ、あなたの生きるこの地球上、そして地域の中に、あなたの声を聞きたいと思い、あなたが生きる姿を見たいと感じ、そして一緒に生きている、沢山の仲間がいることを伝えたいと思いました。

レイプは特定の人間に起こる物珍しい出来事ではありません。被害にあったということは、けっして被害者に非があったからではありません。レイプについて考える時、私はいつも思います。「この問題に、第三者なんているのだろうか」と。

私たちは、すでに同じ場所で生きています。あなたは一人ではありません。私たちは、ここでこうして、出会う事が出来ています。

全てのレイプサバイバーのために。そして私たち自身のために。

RC-NETでは、団体や組織の垣根をこえて、「レイプ」という存在、そしてそこから、生きていく仲間のために、必要な情報を提供し、そして社会一般へのアピールをしていきます。

岡田氏は、「最後に、自分に起きたことを話して死にたい」というメールを受け取ってきている。自分一人で抱え込んでいる人のために、次の様に呼びかけている。

レイプ被害というのは、なかなか人に語られることの少ないものです。

その中を生きてきたあなたの声を聞くということは、私たちにとって、そして社会全体の多くの人々にとって、とても大切で、貴重なものです。

もしあなたがレイプに関わる体験を持っていて、それをここで語ってみる、綴ってみようかなと思われたら、その体験を私たちにシェアしてください。

レイプ、性暴力、と言っても、本当に多種多様です。一人として同じ人間はいないように、レイ

プサイバーだってそれぞれにいろいろだし、支援の形もいろいろです。

多くの人や、支援機関との出会いを持つことで、ご自身なりの「出来ること」を見出してください。そのために、このRC-NETがなんらかの手がかりになれば、とても嬉しいです。



「隠せ」と言われることについて

「わたしたちはここにいる」それはサイバーたちの覚悟
じぶんに起きたことが何なのかを、わたしたちは伝えたい

しかし、このような活動は、多くのバッシングを受けるといふ。大阪で始めたころのバッシングの一つに、著名なフェミニストから「中央にもいない人間が勝手に動くな、政治的な動きをしなければだめだ」と、味方であると思っていた、仲間だと思っていた人物からのバッシングに驚いたという。「当事者は当事者らしく、お茶会でもやっていればいい」とか「当事者は冷静じゃないから当事者を入れないで進めたい」という言葉も浴びせられたという。

東京に移って来てからは、LGBTの人たちから「性暴力被害にあう人がいるなんてことは、コミュニティのイメージを悪くするから言うべきではない」などという声もあったという。しかし、様々なバッシングがある中で、活動に対する当事者からの圧倒的な暖かい支持の声に支えられてきたという。

最後に、LGBT当事者である岡田氏たちが、2014年から青森での活動で受けてきたバッシングと活動の広がりを紹介する。

最初の活動は、青森市のメイン通りでの「レインボーパレード」であったという。参加者は3人、英語で書かれたプラカードを持って行進した。このパレードを見た当事者から、「私たちはあなたたちのように、権利の主張がしたいわけじゃない。目立ちたいなら東京でやれ」といったメールが来るようになったという。しかし、3人で始まったパレードは、1年後には、

8倍の24人に。

「様々な逆風がありますが、逆風があるから頑張れるのかもしれませんが。今年は、参加者50人を目指します」と締めくくった。

「教育現場における『性』の取扱い」

関西性教育研修セミナー実行委員会の共同代表の野坂祐子氏は、「教育現場における『性』の扱い」をテーマに講演された。

野坂氏は、性暴力に関する研究を専門とし、臨床心理士として性暴力の被害者への支援を行うと同時に、児童相談所や学校等で性問題行動を示す児童や性加害を行う少年への治療教育に取り組んでいる。また、子どもの性的発達と性的健康（セクシュアルヘルス）の観点から、児童養護施設や学校での性教育を行っている。



学校での性教育のやりにくさの一つに、古くから「寝た子を起こすな」というフレーズで表される性教育への回避がある。こうした抵抗感に対し、これまで性教育を推進する人たちは「今どきの子どもは寝ていない」とか「どうせ起きるなら寝覚めをよくすべき」と反論して、性教育の必要性を主張してきたわけだが、野坂氏は「現場の教職員が『子どもが起きた』と感じるような、子どもの反応そのものに注目すべき」と指摘した。つまり、性教育の授業の前後に、子どもに「卑猥なからかいや性への過度な興味、教員を困らせるような質問、一部の学習内容へのこだわり（歪曲した理解）、不調や不満の訴え」など、教職員が対応しにくい反応が生じたならば、「それは性教育が子どもにとって何らかの『引き金』になったと理解すべき」という。性教育という『引き金』は、過去の性的なトラウマ体験を思い起こさせている可能性があり、「子どもが起きた」と感じたときこそ、ケアが必要になると述べた。

こうした子どもの性への過剰な反応を、トラウマを手がかりに理解し、支援を提供していく視点は、「トラウマインフォームドケア／システム（Trauma-Informed Care / System : TIC）」と呼ばれ、近年、

米国保健福祉省薬物依存・精神保健管理局によって推奨されている概念の一つという。TICのポイントは、以下の「R」で説明される。

Trauma-Informed Care/System

- **Realizes:** ト라우マの実態にあわせて
- **Recognizes:** どんな影響を受けているか認識して
- **Responds:** 適切な対応をすることで

⇒ **Resist re-traumatization** 再被害を防ごう！

これを性教育にあてはめると、次のようにいえるという。

- ① Realizes：子どもの性的発達・環境・背景を理解する
- ② Recognizes：子どもの困りごと・関心に合わせ認知する
- ③ Responds：子どものサインに応える

教室内に性的虐待や性被害を受けた子どもがいることを想定し、「寝ているか、起きているか」の論争を超えて、安全な性教育を行うよう努める必要があると、野坂氏は述べた。そのために次のような提案をし、講演は締めくくられた。

- 外部講師への丸投げ依頼ではなく、外部講師と教職員の協働関係を構築する。
- 教職員が子どものモデルになれるように、教職員が自分の性について学ぶ機会を多くもつ。
- 性の健康を支援するネットワークづくり。

「性教育をめぐる市民戦争とその教訓」

関西性教育研修セミナー実行委員会の共同代表の東優子氏は、「性教育をめぐる市民戦争とその教訓」と題して講演された。

WAS（世界性の健康学会）性の権利委員会共同委員長でもある東氏は、WASの「性の権利宣言」の10番目にあげられている「教育を受ける権利、包括的性教育を受ける権利」に関連して、米国の性教育の状況と



その教訓を中心に講演された。

米国における「性教育をめぐる価値の対立」は、「禁欲のみ（Abstinence-only）教育」と「包括的性教育（Comprehensive Sexuality Education）」の対立である。この対立構造は、日本でも見られるが、宗教的背景もあって米国では顕著にみられるという。

「禁欲のみ（Abstinence-only）教育」とは、「寝た子を起こすな」、「望まない『妊娠や』性感染症予防に唯一確実な方法は禁欲である」「標準は貞節な一夫一婦制におけるセックスである」「中絶手術は新しい生命を断つ殺人と同じ」などの考え方で行う教育である。

「包括的性教育（Comprehensive Sexuality Education）」とは、「主体的・自己決定の尊重（基礎は生命尊重）」「年齢・性経験・文化に即した教材や学習方法の開発を重視」「ピルやコンドーム使用による避妊教育と性感染症予防教育などリスクな性行為の低減に焦点化した教育内容」などを行う性教育である。

性教育をめぐる価値の対立

禁欲のみ (Abstinence-only) 教育

- 寝た子を起こすな
 - 性行動選択は、成人にも難しい
 - 発達段階に応じた慎重な性教育を
- 禁欲は、社会上、精神上、健康上の利点がある
 - セックスの前に自立が重要
 - 早期のセックスは心身・家族関係・社会機能に有害な結果を招く
 - 望まない妊娠や性感染症予防に唯一確実な方法は禁欲である—Say No to Sex
- 道徳教育と恐怖教育
 - 標準は、貞節な一夫一婦制におけるセックスである
 - 思春期妊娠の多くは妊娠中絶となる
 - 中絶手術は新しい生命を断つ殺人と同じ

包括的性教育 (Comprehensive Sexuality Education)

- 主体性・自己決定の尊重（基礎は生命尊重）
 - 正確な性知識をもつことが、望まない妊娠や性感染症の予防に役立つ。
- 年齢・性経験・文化に即した教材や学習方法の開発を重視
 - 理解できる内容に応じて早期から実施
 - 参加型による気づきの学習法
 - 教師やリーダーの養成
 - 期間の長さや継続性を重視
- リスクな性行為の低減に焦点化
 - ピルやコンドーム使用による避妊教育と性感染症予防教育
 - 行動論的アプローチ
 - コミュニケーション・スキルの涵養

歴史的に見た場合、ブッシュ政権時代の性教育に関する政策と政治は、「禁欲のみ（Abstinence-only）教育」と「ABC」が主流であった。

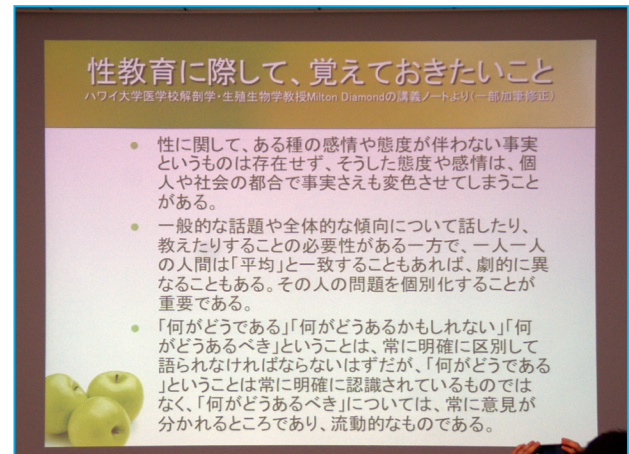
ブッシュ政権は、「HIV 予防という政策は賛成はするが、結婚前の禁欲しか感染の予防はできないと主張し、コンドームの教育と配布プログラムを非難し、資金援助を凍結した」という。そして多くが、「ABC」であるべきと主張したという。ABCとは、まずはA（Abstain 禁欲）、次にB（Be Faithful 相手に忠実）、それがだめならC（Condom）という主張である。

しかし、現実には、結婚が女性にとっては感染リスク要因であり、一夫一婦制のもとで結婚した女性ももっとも早い速度で感染拡大するリスク集団になっている。その原因を分析していくと、「A」である「禁欲

のみ (Abstinence-only) 教育」、つまり「セックスをしないのであるから性について知る必要はない」という性に対する無知に行き着くという。

東氏は、米国のジョン・オリバーというコメディアンの人気トーク番組が2015年8月に放送した「今日の米国社会と性教育」の内容を紹介された。

- 米国50州のうち、教育課程で性教育を義務づけているのは22州。医学的に正確な情報提供を義務づけているのは13州のみ。
 - 性教育の指導要領 (基準) はバラバラ。州によって、あるいは校区もしくは学校によっても内容が異なる。オハイオ州の放送局が性教育の取材をしようとしたところ、そこに内容について取材を拒否する学校が続出。
 - 「結婚まではセックスしない」という禁欲に焦点化した性教育を行う学校は多い。しかし、米国の平均初交年齢は17歳で、ほとんどが生涯に1人以上とのセックスを経験する。「するな」とだけ教えるのは非現実的とコメント。
 - 指導要領で、何を教えるべきかは明確ではないが、何を教えるべきでないかは明確に記述している州もある。例えば、ミシシッピ州で避妊について教えることはできるが、コンドームの使用方法の実践は州が禁じている。しかし、そのミシシッピ州が、10代の妊娠が全米2位という皮肉な結果。
 - 教師が生徒に対してLBGTQに触れることを困難にする教育法をもつ州が、アラバマ、アリゾナ、ルイジアナ、ミシシッピ、オクラホマ、サウスカロライナ、テキサス、ユタの8州。
- しかし、東氏は、米国で、このような番組が放送されることは、大きな変化であるという。
- 放送では、「禁欲のみ (Abstinence-only) 教育」と「包括的性教育 (Comprehensive Sexuality Education)」の教育評価の結果を示している。
- 禁欲のみのプログラムでは、性行動に変化はみられない。
 - 「包括的性教育」が性行動を早めたり増加させるといふ証拠はない。
 - 性交を先に延ばすことと予防の奨励は「禁欲のみ教育」より有効である。
 - 性的に活発になる前のプログラムの方が効果的である。
 - 現在まで、禁欲が10代の妊娠を防ぐ唯一の効果的方法であることを示す方法論的に健全な研究は見つ



かっていない。逆に「禁欲のみ教育」では、10代の妊娠が増えるという統計結果がある。

- 「包括的性教育」プログラムには、生殖、妊娠、性感染症、予防方法についての知識を増やす力がある。
- 「包括的性教育」によって性行動が早まることはなく安全な性習慣を指導できる。
- 「包括的性教育」は性的な態度、スキル、行動に影響し、望まない妊娠を減らすに有望である。

以上のような教育評価を紹介するとともに、米国の同性婚事情などについても触れられ、東氏は、ハワイ大学のミルトン・ダイヤモンド教授の講義ノートの一部を紹介した。そして「押されても揺らいでも、世代を超えて、仲間たちと立ち続けていきたい」と締めくくられた。



関西性教育研修セミナー第20回記念イベントは、その後、30分余り講師と参加者のディスカッションで幕を閉じた。

その後、熱いディスカッションの続きが、場所を変えて懇親会の場で遅くまで続けられた。

関西性教育研修セミナー年譜

回数	日付	テーマ	講師
第1回	2006年 8月19日～20日	性暴力の被害と加害	藤岡淳子（大阪大学大学院）野坂祐子（大阪教育大学）
第2回	2006年12月17日	性教育の実践を見る・聞く・学ぶ	秋山繁治（清心高校教諭）宇野賀津子（ルイ・パストゥールセンター）土肥いつき（高校教員）兵藤智佳（早稲田大学）渡辺武子（人間と性文化センター）
第3回	2007年3月4日	HIV陽性者のリアリティを伝える	東 優子（大阪府立大学）矢島 嵩（JaNP+）野坂祐子（大阪教育大学）生島 嗣（ぶれいす東京）
第4回	2007年8月26日	死をみつめ 命を問い直す	池上千寿子（ぶれいす東京）渋井哲也（フリージャーナリスト）
第5回	2008年3月15日	性の多様性と性科学	リチャード・グリーン（英国インペリアルカレッジ）イーライ・コールマン（ミネソタ大学）
第6回	2008年7月27日	日本の性と社会のイマドキー若者編ー	守 如子（関西大学）鈴木秀子（大阪府立北淀高等学校）
第7回	2008年11月23日	日本の性と社会のイマドキー恋愛・結婚編ー	関口久志（『セクシュアリティ』編集長）永田夏来（明治大学大学院）藤井ひろみ（助産師）
第8回	2009年12月12日	SEX&SOCIETY（性と社会）エイズ四半世紀で何が変わり、何が変わらない	北丸雄二（NY在住ジャーナリスト）岳中美江（陽性者サポートプロジェクト関西）張由起夫（エイズ予防財団流動研究員）
第9回	2010年8月22日	児童・生徒と性同一性障害	中塚幹也（岡山大学大学院）塚田 攻（埼玉医科大学）康 純（大阪医科大学）
第10回	2010年12月12日	次世代に語り継ぐSEX&SOCIETY（性と社会）	ミルトン・ダイヤモンド（ハワイ大学）池上千寿子（ぶれいす東京）
第11回	2011年9月4日	学校のなかの性的マイノリティ～教育現場における排除と包摂～	日高庸晴（宝塚大学）土肥いつき（高校教員）宇佐美翔子（共生社会をつくるセクシュアルマイノリティ支援全国ネットワーク）
第12回	2011年12月11日	支援学校における教育とケア	東 優子（大阪府立大学）浅野恭子（大阪府池田子どもセンター）池川典子・船木雄太郎（大阪府立泉北高等支援学校）野坂祐子（大阪教育大学）
第13回	2012年8月6日	性の教育とアドボカシー	マット・ティリー（カーティン大学）サム・ウィンター（香港大学）アラン・ジアミ（仏・国立衛生医学研究所）ミルトン・ダイヤモンド（ハワイ大学）ほか
第14回	2012年12月23日	児童生徒の性暴力被害に対する学校での危機対応～スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの実践から～	藤森和美（武蔵野大学）金澤ますみ（大阪人間科学大学）
第15回	2013年8月24日	オトコと性、神話と科学	関口久志（京都教育大学）小堀善友（獨協医科大学）
第16回	2013年12月21日	LIVING TOGETHER～池上千寿子の歩み続ける道～	池上千寿子（ぶれいす東京）
第17回	2014年9月6日	射精する身体～男子の性と教育～	村瀬幸浩（一橋大学）
第18回	2014年12月23日	知的しょうがい児（者）への性教育実践の工夫あれこれ	船木雄太郎（大阪府立泉北高等支援学校）武子 愛（淑徳大学大学院）
第19回	2015年8月9日	人間の性をめぐる緒言説の本当と嘘	ミルトン・ダイヤモンド（ハワイ大学）フィリップ・トモロビッチ（同志社大学）
第20回	2016年3月13日	押されても 揺らいでも 立ち続けることの意味を問う	池上千寿子（ぶれいす東京）岡田実穂（RC-NET）野坂祐子（大阪大学大学院）東優子（大阪府立大学）

※ 2009年8月に予定していたセミナーは、ミルトン・ダイヤモンド教授急病のため休会になった。

名前がないのは実体がないのと同じ。名前が変わるのは、内容が変わるのと同じ。と考えると、女子には名前に関する問題がいくつかあります。

◇ ◇

一つは、結婚と姓。親の名字を受け継ぐ一人っ子同士だと、一筋縄ではいかない大問題です。日本では98%が、女性が姓を変えるわけですが、男女別姓という選択肢もあるはずですし、名前を変えるというのは、誰にとっても、あるいは組織にとっても大きな意味を持ちます。

同姓にすることで家族としての一体感が生まれると主張するのもわからなくはありませんが、それは必ず女性の譲歩を前提とするとしたら、一人っ子の娘を持つ親はどうしたらいいのでしょうか。それが高じると、男子を生みたいというニーズが生まれ、さらに経済的ペナルティーとも言うべき制度が派生すると、女子を生むと持参金貧乏になるという貧困問題に発展します。たかが名前、されど名は体を表すとも言いますから、他者に強要されることではないはずですが。

研究者は、論文を書いて業績を評価されますが、女性研究者が結婚によって姓が変わると、検索で引かれにくくなり厄介です。事実婚として籍を入れない方法もありますが、今度は社会保障に差が出ます。手続きもお金や時間がかかりますし、ある人は離婚したときに事情をよく知らない人から、お祝いの花束をもらって困惑したというエピソードがありますが、プライベートなことが、関係ない人まで知られてしまうという側面まであります。姓をそろえるというのは、一体感というほんわりしたもの前に、女性にとっては面倒や損なことが満載といえるでしょう。

◇ ◇

一方で、女性の外性器はあまり名前と呼ばれません。外陰部、おまた、あそこ、おまんこ、など、名称がないわけではありませんが、通常口にしないことが多いでしょう。男性器も公共の電波や新聞では伏せられる

とは思いますが、一般的には話の中に出てくることがあります。それに引き換え、女性器は名称をよく知らない人も多いと思います。学校教育のなかでも、なかなか教えるにくい部分でしょう。私はその昔、高校の保健体育で習い、私と男子一人が100点を取りましたが、友人は気持ち悪くて覚えたり漢字で書くのは無理、と言っていたのを覚えています。自分のからだのことなのに、気持ち悪いというのが不思議でした。どうして女性器はないことになっているのでしょうか。

平成12年頃に、「生涯を通じた女性の健康施策」の延長上に、中学生向け副読本「ラブ・アンド・ボディブック」が作成されましたが、その中でも女性器はきちんと書かれませんでした。私は委員の一人として、外性器も内性器もきちんと表示すべきだと主張しましたが、別の委員は女性の外性器は「わいせつぶつ」とあると言いました。私はその発言を許したわけではありませんが、私に力がなく、意見は通りませんでした。

女性器がわいせつぶつなら、突出している男性器はもっとわいせつで、決して載せてはならない代物であるはずですが。男性目線の女性器の扱いに、女性をものとしてしか見ていないのだということがよくわかります。名前がないのは実体がないのと同じことになってしまいます。

一口に外性器と言っても、複雑です。皮膚の分厚いひだである大陰唇、その内側の薄くて伸びる小陰唇。その内側の陰前庭やその前の尿道口とクリトリス。おそらくクリトリスの説明ができないか、したくないために女性の外性器は秘められてしまうのでしょうか。クリトリスの存在を知らないまま夫と性交し、妊娠・出産してもその存在を知らないまま人生を閉じた女性は少なくないでしょう。

ある年配の方は、尿道口の前にできものができたと受診されました。それがもともとあるクリトリスであることを説明するのは、案外難しいことです。おそらく痩せて目立ったり、自転車を漕いで気になったの

でしょうが、今更その存在を知っても時すでに遅いです。何でもない、ということの説明するので精いっぱいでした。

◇ ◇

今では問題視され、徐々になくなって来ている慣習に、女性の性器切除 (FGM/C)^注があります。おばあちゃんもお母さんもお姉ちゃんも受けている処置を、末娘だけ受けさせないのは勇気が要ります。男性にも包皮を切り取る割礼がありますが、それに相当するというよりは、それ以上にダメージの大きい処置として、止める方向になってはいますが、社会的な慣習というのは、無意味だと思ってもなかなか簡単には止められないものです。

女性に性器のことを知らせない。自分の身体を自分で管理するのではなく、男性や医師が管理する。日本では行われていないこのような処置に関しては、ひどいと思えても、日本で当たり前に行われているこうした慣習的な隠ぺいの仕組みには案外気づかないものです。自分のからだは自分のものですから、届くところ、くまなく自分のからだ探検をしていいはずです。それでも、日本の女性は大人であっても、子どもを産んだあとですら、自分では触れない、という女性がいます。自分のからだに責任を持って自分で管理することの面白さに気づいて欲しいなあと思います。

◇ ◇

小陰唇の病気には、陰部ヘルペスや尖圭コンジローマなどのウイルスによる性感染症があります。大陰唇は皮膚なので、毛穴が詰まる毛囊炎が起こります。小陰唇は左右差を気にしたり、10代後半から伸びてぶら下がったようになるのを気にする人もいます。時には、雑誌のグラビアと違う、と娘を受診させるお母さんもいます。なかなか人と比べることができないので心配はわかりますが、フィギュアのように女子をみるのは行き過ぎではないかと思うことがよくあります。

小陰唇の後ろ側にはバルトリン腺という分泌腺があり、そこが詰まるとバルトリン線腫を形成したり、炎症を起こしたりします。クリトリスの病気は少ないのですが、クリトリスの包茎で感度が上がらなかったり、包皮の内側に炎症を起こしたり、あるいは持続性性喚起症候群という不随意にオーガズムを感じてしま

う病気もあります。処女膜は、膣の入り口1センチくらいのところにありますが、綺麗な円形で伸びが悪く性交できなかったり、その周辺が不随意に収縮してしまつて性交障害を引き起こすこともあります。無理な性交をすれば、膣の入り口や膣の奥が裂傷を起こして大出血をすることもあるのです。

このようなことは、あらかじめ聞いたことがあれば大してびっくりもしないでしょうが、構造もわからず、何が起るのかも知らなければ、その都度怖い思いをすることになります。性は男性がリードするもの、という思い込みがあり、相手の男性も大した知識がなければ、性は怖くて嫌なものになってしまいかねません。

◇ ◇

子どもさえ産めればいい、という考え方もあるかも知れませんが、性交できなければ子どもどころではありませんし、自分の身体を知らない母が、子どもの健康管理ができるのか、考えてみればわかることです。自分で触れて感じてみることは、大人への大事な一歩ではないでしょうか。膣の壁の感触も向きも広さも、自分で知る、そして好きな人と交わる、それが大人の性行動だと伝えたいものです。

性的対象が揺れることを sexual fragility と表現し、それはバイセクシュアルとは違うそうです。性的なことを一人するのはソロセックス。誰としても構わないから、対象の性別は問わない。産婦人科医として生殖に拘る日々を過ごしている身には、生殖も生殖類似行為も想定しない「性」の意味がだんだん分からなくなってきました。性器の定義は生殖器「だった」と認識していますが、生殖には使わない、あるいは生殖は問わない性の意味は何なのでしょう。射精もオーガズムも要らなくなると、何があれば「性」の要件を満たすのでしょうか。わからないまま診療している自分が情けない限りです。

注)

女性の性器切除 (female genital mutilation/cutting:FGM/C) とは、アフリカや中東、アジアの一部の国々で行われている女性の性器の一部を切除してしまう慣習です。FGM/Cを受けた女の子や女性は、出血が続き、感染症や不妊、死のリスクにさらされます。毎年2月6日は、国際女性性器切除 (FGM/C) 根絶の日 (ゼロ・トレランス・デー) です。世界30カ国の少なくとも2億人の女の子たちや女性たちがFGM/Cを経験しています。うち、半数以上が3カ国 (インドネシア、エジプト、エチオピア) に集中しています。

連載第1回▶▶▶ コンドームを付けずにエッチしてしまった

2日前に男の人とエッチをしました。コンドームを持ってなかったみたいで、生でした。

でも、中には出してません。生理予測アプリで見たら妊娠可能性が高い日にちでその前の日は、排卵日でした。妊娠可能性が高いことを知った日から怖くて……。まだ高校生活が1年残ってるんです。妊娠なんてしたくないんです。助けてください。中絶にお金がかからないやつありますか？

避妊なしの性行為をしてしまったというよくある質問です。いつも話しているのですが、月経が開始した女性（月経があるということは排卵しているということです）と勃起することができる男性（射精可能ということです）が一緒になれば、たとえお互いが小学生であっても妊娠は可能です。子どもたちは普段の生活は大人（親）に面倒見てもらっているし、勉強やその他のことで失敗しても子どもの間は大人たちに何とか助けられ大事に至ることなく過ごしています。そんな考えが残っているのか、性の問題も後で何とかかなというような軽い考えで行動しているように感じます。

他の部分はともかく性の問題に関しては月経や射精が始まったら体は全く大人と変わらないこと、妊娠も分娩も問題なく大人と同等に行えることを知っておく必要があります。女の子は月経が開始したらお赤飯でお祝いするのは、このことをしっかり自覚してもらいたいです。男子は残念ながらこの儀式がありません、男子こそしっかりと自覚して欲しいのですが（アンケート調査では男の子はこの時期にはホワイトケーキでお祝いして欲しいということでした、皆さん是非！）。

さて挿入だけで妊娠するかどうかという話ですが、確かに妊娠する可能性は非常に低いです。ただ、勃起した段階でペニスの表面にカウパー氏腺液が出てきます。尿道に精子が残っていた場合、カウパー氏腺液に流されてペニスの表面にあらわれそのまま性行為によって膈内に入ることもあります。また10代から20代前半の女性は月経周期が不安定で排卵日が確定していません。つまりいつ排卵するかわからないのです。したがってどのタイミングでも膈内にペニスの挿入があれば妊娠する可能性があるわけです。米国における膈外射精法の失敗率は4～22%となっています。つまり一時的な挿入も立派な性交であり、子どもをつく

る行為になるわけです。性教育では中学生に是非このことはしっかり伝えてほしいと思います（私は小学4年生に話していますが）。

避妊に失敗または避妊してなかったとしても72時間以内であれば緊急避妊薬を使うことが可能です。これは婦人科で処方されますが15,000円位かかります。自費なので保険を使いません、したがって家族に連絡が行くこともありません。このことはデートDVやレイプにあった友達に対していち早くアドバイスしなければいけない内容なので全ての学生が知っておく必要があります。また地域にもよりますがレイプであれば届けることで警察が負担してくれる仕組みになっています（ただし未成年の場合は親に連絡が入ります）。

中絶に関しては日本の場合全例手術で行うようになっており、もちろん無料はありません。基本は10万円くらいで自費扱いです、ただし前述と同様にレイプや性虐待の被害者である場合は、同意書に相手のサインはいりません。お金も警察が負担してくれることになっています。また生活保護を受けている場合も公費負担になる場合もあるので、要相談です。

米国における各種避妊法使用開始1年間の失敗率（妊娠率）と避妊法継続率（%）

避妊方法	理想的な使用 (perfect use) ★	一般的な使用 (typical use) ★★	1年後の継続率
OC（低用量経口避妊薬）	0.3	9	67
レボノルゲストレル放出IUS	0.2	0.2	80
銅付加IUD	0.6	0.8	78
コンドーム	2	18	43
リズム法（オギノ式など）	0.4～5	24	47
膈外射精法	4	22	47
避妊手術	女性	0.5	100
	男性	0.10	0.15
避妊せず	85	85	

★：選んだ避妊法を正しく使用しているにもかかわらず妊娠してしまった場合

★★：選んだ避妊法を使用しているにもかかわらず妊娠してしまった場合（経口避妊薬については、飲み忘れを含めた場合の失敗率）

Trussell J. et al. Choosing a contraceptive: Efficacy, Safety, and personal Considerations. Contraceptive Technology, 20ed., Ardent Media, 2011, pp45-74.

性教育の歴史を尋ねる

戦後・純潔教育編

茂木輝順

第37回

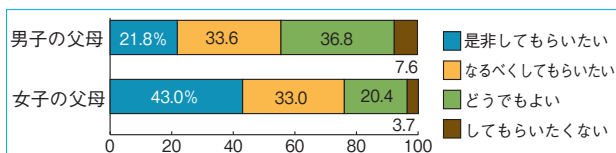
昭和20年代における中学校での性教育実践例 玉名町立玉名中学校の性教育実践(その2)

もてぎ てるのり
女子栄養大学大学院栄養学
研究科保健学専攻博士後期
課程修了、博士(保健学)

前回述べたように、玉名中学校では、学校オリジナルの生徒用テキストに基づいた性教育実践が行われていました。同校は、この実践をすすめる中で、保護者に対してのアンケート調査を行っています。今回は、この保護者調査について紹介したいと思います。

最初の保護者への調査は、対象人数や回収率などの調査の詳細は明らかにされていませんが、同校が性教育の実践を開始した1952年度中に実施されたとみられます。この調査によると、家庭で性教育をしたというのは、男子の保護者の7.3%、女子の保護者の17.7%で、多数の家庭で性教育が行われていません。また、性教育の賛否についての回答結果は図1のとおりで、性教育を「してもらいたくない」という回答は、男子の保護者の7.6%、女子の保護者の3.7%です。自由記述では、同校が作成したテキストについて、「例として大変くわしく植物の受精を教える点を感じている。このテキストに依って充分子供たちも理解して行ったら先ず間違を起すことは少いと思う」、「本校でテキストを作成して戴き、適当な教育をして貰えば、その時々に応じて立派な判断が出来るようになって、誤を起すことが少くなると思う」など、高く評価する意見が寄せられている一方で、「従来内密な隠事と考えられていたものを、余り明らかにすると、ややもすると暴露の興味を刺戟するようになり、人生の重大事を、興味と好奇心本位に眺めがちになる危険がある」、「あまり性教育、性教育と騒ぐのは行き過ぎではないか」など、性教育の行き過ぎを危惧する意見も寄せられています。学校での性教育に対して反対の意向を示す保護者が、確実に存在したことがうかがえます。

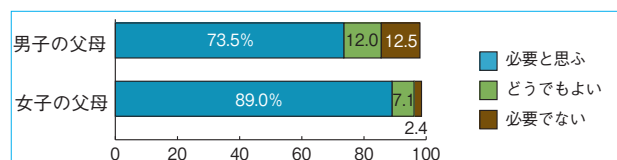
図1 性教育の実施についての保護者の賛否(1952年度)



玉名中学校での性教育実践はその後も続けられ、最

初の調査からおおよそ3年後の1955年10月に再度、保護者への調査が行われています。240家庭に依頼し、165部回収した結果(回収率68.8%)によると、家庭で性教育をしているという回答は、男子の保護者の34.3%、女子の保護者の40.2%で、3年前の調査に比べ、大幅に増加しています。その一方で、性教育の実施についての回答結果は図2のとおりです。

図2 性教育の実施についての保護者の賛否(1955年)



選択肢が同一でないものの、男子の保護者については、性教育は必要でないとする回答が、3年前の7.6%に比べて、12.5%と増えています。自由記述では、「今の熱心さで根気よく続けて欲しい。結果は三年や五年では表れないが、子供が上級校、更に社会人として立つ頃に役立つと思う」(1年生男子の母)など、肯定的な意見も見られますが、どちらかというが目立つのは、「性教育を受けなくとも、或る年令ともなればひと通りの知識を有してくる。また最近の学生の犯罪が性教育からくるものも多いと思う。好奇心とからんで害を起すこともあり、必要以上の教育は望まない」(1年生男子の父)、「子供は或期間がくれば各自解つてくるので、早くから物事の判断のつかぬうちに、性教育をすると反対に悪い結果をもたらすこともあるので、一寸考え物だ」(2年生男子の父)など、男子の保護者を中心に、性教育の弊害を危惧する意見です。性教育実践を3年間継続したことによって、家庭で性教育を実施する保護者は増えてきたものの、少数ながら根強く存在する学校での性教育への不安視は解消されていないことがうかがえます。

注) アンケート調査の結果は、内田守『続純潔教育への情熱』金龍堂書店1956年に収録されています。紙幅の都合で、本稿では紹介できませんが、同校では、生徒や卒業生に対してのアンケート調査も実施されています。

※本連載は、資料収集など筆者の都合により、一時休載します。

BOOK GUIDE

今月のブックガイド

多様性への正しい戦略！

昨今のLGBTへの社会的関心からか、性的多様性を謳った絵本が売れているようだ。2008年に翻訳出版された『タンタンゴはパパふたり』（ポット出版）は順調に版を重ねているし、昨年上梓された本書『王さまと王さま』（同社）も好調だという。

前書は、ペンギンの雄どうしのカップルが子育てをした実話を元にしていて、動物の世界にもいろいろな家族関係があることを教えてくれる。よく「同性愛は自然に反している」といわれるが、実際には、自然界には同性愛と類推されるような現象があまた存在している。人間の社会にも太古から「同性愛現象」は見られ、しかしながら、同性どうしの性愛関係を異性どうしのそれと同等にあつてきた社会はほとんどなかった。

そのなかで、少数派の欲望を抱えた当事者は、抑圧感やら被差別感やらを抱えざるを得なかった。1970年代になると、欧米ではゲイ解放運動が活発になり、そうした実践のなかで、子供のときから性が多様であることを認識させる学習も試みられてきた。「性的マイノリティに対する差別や偏見をなくすためには、幼い頃から性の多様性に対する理解を育むことが大切」と本書の訳者も記しているように、子供向けの絵本はその良い媒体になる。

『王さまと王さま』は、王位にいることにうんざりしてしまった女王さまが、自分の息子の王子に早く結婚することを促すのだが、いろんな国の王女とお見合いをするが彼の心はときめかず、ある国のお姫様の付き添いで来た兄の王子にひとめぼれしてしまう。そして、ふたりはとくに周囲の反対に遭うこともなく祝福され結婚する物語。その拍子抜けするほどあっさりとしたハッピーエンドにこそ、幼い子たちにメッセージする肯定性があるように感じる。



王さまと王さま

リンダ・ハーン/スターン・ナイランド 文・絵、アンドレア・ゲルマー 訳、眞野豊訳

ポット出版
定価 1500円+税

ひとはコミュニケーションにおいて予測が覆されたり、相手の反応が想像できないとき、不安に襲われる。その不安から逃れようとして相手を排除したり、場合によっては攻撃したりする。自分たちの社会の外の人間への偏見や、少数派に対する差別というものには大方、こうした内面に起因するもので、だったら、少数派のありようが物珍しくなくなれば、その不安は解消されるに違いない。それには多数派とは異なるありようが存在することを、幼いときから心に織り込んでおくのにこしたことはない。

そういう意味で、幼児期に絵本から学ばせることは正しい戦略だろう。日本でも「王子さまとお姫さまの物語」以外の童話がさらに出版され、翻訳書ばかりでなく、この国に住まうものによって描かれることが望ましい。

しかし翻ってみれば、絵本という形式では上記の作品以外にはまだ市場に流通していないにしても、サブカル領域においては、これまでも多様な性の表現が生産されてきたといえる。コミック文化の始祖ともいえる手塚治虫からして、『リボンの騎士』などまさにトランスジェンダーのファンタジーであるし、永井豪の名作『デビルマン』も、同性愛ともトランスジェンダーともつかないセクシュアリティが表現されている。

以前、筆者は、アメリカのTVで過去放映されたLGBT関連の作品を調べたことがあったが、そのリストの中に『セーラームーン』など日本のアニメ作品が少なからず含まれていたことに驚いた。日本人が幼い頃から「ふつう」に観てきたアニメのキャラが、案外、向こうの社会ではLGBTの文脈で理解されていたのだ。

こういうところが、日本社会の、なんだかんだで性的少数者に「緩い」ベースを作っていることは否定できないだろう。幼児教育がいかに大切だということの証左といえまいか。 (作家 伏見憲明)

5/22 (日)

9:30~16:30

日本性科学会 第45回 セックス・カウンセリング研究会 性機能不全 世界の動向

内容

- 9:30~9:35 開会の挨拶 大川玲子 (日本性科学会理事長)
- 9:35~10:30 「DSM-5における性障害の診断基準」 針間克己 (はりまメンタルクリニック院長)
- 10:40~11:20 「年代別に見る男性の性機能障害」 今井 伸 (聖隷浜松病院泌尿器科主任医長)
- 11:20~12:00 「女性性機能不全」 大川玲子 (国立病院機構千葉医療センター非常勤医師)
- 13:40~14:25 「男性不妊診療について」 石川智基 (リプロダクションクリニック大阪CEO)
- 14:35~16:20 「インテイク・ロールプレイング」 金子和子 (日本性科学会カウンセリング室・主婦会館クリニック臨床心理士)
- 16:20~16:30 修了証授与 閉会の挨拶 阿倍輝夫 (日本性科学会副理事長)

会場 東京慈恵会医科大学西新橋校 1号館 5階講堂
(東京都港区西新橋 3-25-8)

参加費・問い合わせ先等

参加費 / 一般 12,000円 学会会員 10,000円 学生 3,000円
問合せ先 / 日本性科学会事務局 (東京都文京区本郷 3-2-3 森島ビル4階)
TEL & FAX: 03-3868-3853 (月・水・金 10:00~13:00)

▶▶ 6月11日 (土) 12:55~16:30 ◀◀

平成28年度

第5回ピアカウンセリング入門セミナー

内容 ①アイスブレイク、②ピアとは、ピアカウンセリングとは、③ピアカウンセリング8つの誓約、④ピアカウンセリングのスキル、⑤ピアカウンセリング体験、⑥全体振り返り

講師 高村寿子 (自治医科大学名誉教授/日本ピア・カウンセリング/ピア・エデュケーション研究会代表) ほか

会場 平和と労働センター・全労連会館 2階ホール
(東京都文京区湯島 2-4-4)

主催・問い合わせ等

参加費 / 5,400円 (税込) 定員 / 50名
受講資格 / ピアカウンセリングに興味のある保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教諭、教職員等 (その他の職種の方の参加希望者は、要事前問い合わせ)
問合せ先 / (社) 日本家族計画協会 研修課
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
TEL 03-3269-4785 FAX 03-3267-2658

5/26 (木)

13:30~15:30

日本「性とこころ」 関連問題学会 第8回学術研究大会 プレ企画講演会

【テーマ】

『性犯罪者における地域トリートメント』
「性依存症治療ことはじめ～SAG立ち上げ10年を振り返って～」

【内容】

講演 「性依存症治療ことはじめ」
榎本 稔 (榎本クリニック理事長)
「10年を振り返ってーシンプルなことを丁寧にー」
斉藤章佳 (御徒町榎本クリニック精神保健福祉部次長)

【会場】 御徒町榎本クリニック8階
(東京都台東区東上野 1-7-6)

【主催・問い合わせ等】

主 催 / 榎本クリニック
参加費 / 無料
申込み / 5月21日 (土) までに、FAX 03-3982-5090 に。
問合せ先 / TEL 03-3982-5182 担当: 北條

2014年3月 WAS 諮問委員会で承認された改訂版「性の権利宣言」を増補

『増補版』『セクシュアル・ヘルスの推進 行動のための提言』

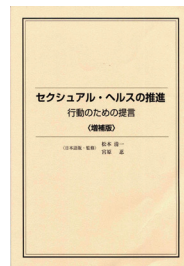
日本語版監修 松本清一・宮原 忍

◆B5判：72頁、頒価 800円

主な内容

セクシュアル・ヘルスの特徴/セクシュアル・ヘルス上の留意点と問題/セクシュアル・ヘルス増進のための行動と戦略/WASの「性の権利宣言（初版）/WASの「性の権利宣言」（改訂版）

※送料：1冊 250円、2冊～7冊 360円、8・9冊 510円、10～12冊 870円、13冊～19冊 1180円、20冊以上無料。

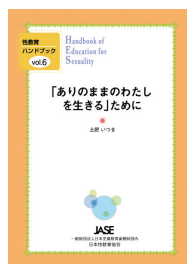


性教育ハンドブック Vol.6

『「ありのままのわたしを生きる」ために』

土肥いつき著

◆A5判：86頁、頒価 500円



主な内容

港にて（自分史の試み…）/船出のとき（小さなトゲのような思い…）/帆をあげる（教員生活のはじまり…）/舵を切る（「身体改造の」開始…）/嵐の中で/かすかに見えた航路/新たな旅へ

著者プロフィール

1985年より京都府立高校教員。セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク代表、トランスジェンダー生徒交流会世話人、まんまるの会（関西医科大学附属病院ジェンダークリニック受診者の会）世話人代表など。映画『coming out story』に出演。

既刊（性教育ハンドブック）

☆性教育ハンドブック Vol.5 『21世紀の課題＝今こそ、エイズを考える』池上千寿子著 A5判・68頁 500円

☆性教育ハンドブック Vol.4 『性教育の歴史を尋ねる～戦前編～』茂木輝順著 A5判・92頁 500円

※送料：1～4冊 180円、5冊～8冊 360円、9冊 510円、10～14冊 870円、15冊～19冊 1180円、20冊以上無料。

◆JASE ホームページ <http://www.jase.faje.or.jp/pub/pub.html> からお申し込みいただけます。

または、Email info_jase@faje.or.jp TEL 03-6801-9307 FAX 03-5800-0478

JASE 性教育・セクソロジーに関する資料室

資料室について

JASE 資料室は国内外の性教育、性科学等に関する文献資料を収集している開架式資料室です。文献資料の数は約6万点以上、現在も日々、増え続けています。性教育、セクソロジーに関する調査、研究のためにご利用いただけます。人間の性に関心がある方、ぜひ足をお運びください。

【閲覧】必ず事前に電話で予約が必要です（tel 03-6801-9307）。貸出業務は行っておりません。

【開室日・時間】月～金曜日 10:30～17:30

【休室日】土・日曜日、祝日、年末年始 ※この他、会議等で臨時に休室することがあります。

【コピーサービス】コピー料金は用紙サイズにかかわらず1枚10円です。著作権法の許容する範囲で行うものとします。

<http://www.jase.faje.or.jp/pub/archive.html>

資料室 利用方法

収集文献 ・資料

統計・調査報告書、ジェンダー・フェミニズム、性教育一般・性教育の歴史的資料、国内雑誌、障害者・セクソロジー（自然科学系、人文・社会学系）、民俗学・文化人類学・風俗、性研究史・性学史、教科書・指導書・学習指導要領、幼児期～青年期、国内学術誌、国際（海外団体資料・海外学術誌）、高齢者・家族問題、文学・評論・エッセイ・文庫・新書、官公庁資料、JASE 刊行物、映像資料、個人論文、雑誌記事、新聞記事、絵本・写真集・マンガ、江幡・篠崎・朝山・石川・ダイヤモンド文庫、ほか。

<http://www3.jase.faje.or.jp/cgi-bin/search1.cgi>